

【将来像・教育目標】・・・「**持続可能な魅力ある学園！ ～学園全体の財務内容の良化を図るとともに、教職員の働き方改革と学園組織の体質強化を図る～**」

重点目標(KPI)	具体的目標(数値化)	ロードマップ(戦略: 何を・いつまでに・どのように)						アクションプラン 考え方・内容、反省・改善策
		2018年度	検証	2019年度	検証	2020年度	検証	
I. 財務体質の強化  ・経費削減への取組 (管理経費額: 前年度比△3.0%)  ・資金収支、損益の確保  ・事業のメリハリ運用	① <b>教育活動資金収支差額の黒字化</b> (活動区分資金収支計算書) 同比率…0.7%(2017年度)	・同比率…4.3%		・同比率…6.0%		・同比率…9.0%		・本業(教育研究)の資金収支の良化 ・黒字化の持続性 (注)3か年のうち2か年赤字(改善計画書)
	② <b>経常収支差額の黒字化</b> (事業活動収支計算書) *2017年(▲112百万円)、比率▲6.8%	・同比率…▲4.8%		・同比率…4.0%		・同比率…6.0%		・経常的な収支のバランスをチェック ・各部門の収入の安定化、支出の削減 ・黒字化対策 (注)3年連続赤字(改善計画書)
	③ <b>積立率</b> …100%以上 (運用資産÷要積立額/減価償却累計額 +退職給与引当金+2・3号基本金) 同比率…78.1%(2017年度)	・同比率…80%		・同比率…82%		・同比率…84%		・運用資産の充実 ・退職金、債務返済金、奨学金の原資
	④ <b>管理経費比率</b> (管理経費÷経常収入) 同比率…6.1%(2017年度)	・同比率…5.5%		・同比率…5.2%		・同比率…4.8%		・同比率目標:前年度比▲0.3%削減 ・年度毎のメリハリ運用
II. 持続可能性の強化  ・入学定員・定員充足率 向上への取組  ・教育研究内容の良化  ・ブランド力UP	① <b>学園全体の定員確保</b> (定員充足率:全体88%以上)	・各部門のプロセス評価 ・同比率…85.5%		・各部門のプロセス評価 ・同比率…84.5%		・各部門のプロセス評価 ・同比率…88.0%		・広報活動の評価 ・学園全体の最重要課題 ・定員の見直し ・魅力ある学科、コースの設置
	② <b>経常補助金比率</b> …25.0%以上 (教育活動収支補助金÷経常収入) ※事業活動収支(24.5%/2017年)	・同比率…25.0%		・同比率…26.0%		・同比率…27.0%		・教育活動への補助金の割合増、獲得率UP ・特別補助金の獲得
	③ <b>教育研究経費比率</b> …25%以上 事業活動収支(教研費÷経常収入) ※事業活動収入-特別収入で算出	・同比率…36.5%		・同比率…37.0%		・同比率…37.0%		・計画的かつ建設的な教育研究支出
	④ <b>予算編成・補正予算の厳格化</b> (中計に沿った予算の整合性)	・予算、補正予算と決算との 整合性の検証		・予算、補正予算の厳格化		・予算、補正予算の厳格化		・基本金組入前当年度収支差額を指標 ・PDCAの厳格化
III. 働き方改革と 組織体質強化  ・学園のブランド力構築  ・ガバナンスの強化  ・人財の育成	① <b>理事会・評議員会の充実</b> (外部目線強化/外部役員) (学園改革への提案力)	・役員出席率…90%以上 ・改革への提案…1件以上		・役員出席率…90%以上 ・改革への提案…1件以上		・役員出席率…90%以上 ・改革への提案…1件以上		・活発かつ建設的な議論 ・学園改革: 年1件以上の提案を起案・指摘
	② <b>働き方改革</b> (タイムマネジメント:時間管理) (内部監査室の設置)	・人材育成 ・時間外削減…前年度▲1.0% ・業務の洗い出し		・複数業務の習得 ・タイムカード導入(実態調査) ・業務の見直し(内部監査/年1回)		・業務の見直し(内部監査/年1回)		・適正人員の把握 ・教職員研修の充実 ・時間外の減少、年休取得率UP ・内部監査室:事務の効率化、業務の兼務化
	③ <b>個人評価制度の充実</b> (能力給の導入)	・2019.4月導入準備 ・目標設定、個別面談(職員)		・賞与に貢献度給を導入 ・個別面接の納得度(職員)		・教員への導入検討		・個人評価制度の充実(年間計画) ・個別面談の充実
	④ <b>組織体制強化</b> (危機管理・情報公開・人財育成 セキュリティの対応づくり)	・全規程の見直し ・必須規程の検証		・内部監査室の設置 ・情報公開規程の策定 ・各自、各部門の業務見直し		・内部監査の充実 ・体系化、HPのリニューアル		・BCP対策、情報公開、内部統制 ・HP、スマホ、SNS等の広報活用 ・内部監査実施(年間計画)

※中長期経営計画「すみれ2030」の期間…2018年度～2030年度とし、第1弾・第2弾・第3弾に期間区分して進捗管理する。

※学園全体の重点目標(KPI)に基づき、各部門の中期目標、ロードマップ、アクションプランを設定。中期目標項目(4つに拘らない)の増減は各部門にて考慮すること。